

関西貨物協議会 news

発行者：関西貨物協議会 大阪府大阪市北区錦町2-2 国労大阪会館 TEL 06-6358-1190

発行責任者：工藤 隆志 編集：恵阪 景一

2023年11月13日 NO. 1

第37回定期委員会を開催

評価制度の不備・低賃金等の意見が出る

国労関西貨物協議会は、第37回定期委員会を国労大阪会館中会議室において、向こう1年間の闘う方針を確立しました。

委員会には、近畿の林委員が委員長を務め議事進行を行いました。来賓には、西日本本部より植田執行委員長、大和執行副委員長、全国貨物協議会より因泥議長が出席されました。

委員会開催にあたり、関西貨物協議会工藤議長より挨拶を受けたのち、来賓挨拶として、西日本本部植田執行委員長から、地方ローカル線問題や労働者の労働条件、労働環境など国労の運動を掲示板や宣伝行動と併せて、いつでもどこでも見ることでできるツールの一つとして、ホームページを活用してほしい。

また、組織問題は、何もしなければ拡大は無く、西日本本部も時代に合わせて取り組んでいくとの決意で挨拶をうけました。

続いて、因泥議長より、10月3日に

開催された貨物全国委員会において、新役員体制となった報告と、年末手当交渉について、「会社は、期末手当は「生活給」である認識を持つた上で、業績は期末手当に反映すると言いつつも、最高益の時の数字を見れば、社員に還元する姿勢は見られない、国労要求「3.0箇所」の回答を得るには他労組合員を巻き込んだ運動が重要となる」、また、組織問題については、「次世代への国労運動の継承が重要となる」、春闘の署名数は昨年の1050筆から1091筆に増えており、職場では不満が蔓延している、昨年の定期大会以降、日頃の運動から組織拡大に繋がっており、組織拡大の流れは出来ている、これからの組織拡大に向けた取り組みが重要だ」と挨拶をされました。

その後、恵阪事務長から2022年度の経過報告と、2023年度の活動方針案が提案されたのち、出席委員から活発な討論を行いました。



全国貨物協議会因泥議長



西日本本部 HP



西日本本部
植田執行委員長

委員の発言

石口委員（広島）

広島は寮が古いので若い社員が入居を避ける傾向にあるが、家賃補助も充分でなく、賃金も上がらず不満を持っている。

組織状況が厳しいものとなってきているが、職場の声を聞きながら引き続き奮闘していきたい。

熊野委員（北陸）

独自の取り組みとして、労働者の意識アンケート調査に取り組んだ。

通風作業着について、コンテナ検修と貨車検修は配布されているがロジ全体として配布するように要求してほしい。

北陸新幹線が来年開業するが、北陸本線の区間はほとんどが三セク会社となる。現在は貨物調整金で貨物会社の負担は無いが、これの見直しがなされた時は会社経営に大きな負担となるのではないか。

奥澤委員（近畿）

評価制度については、現場での運用に無理がある。私は百済(タ)から姫路貨物に転動しているが、二つの駅は入換作業量も大きく違うなど、それぞれの特徴があり同列に評価ができないのではないかと。また、社員それぞれの努力によって安全が保たれているが、それを基準値とする評価制度は、鉄道の安全を甘く見ないか？

姫路貨物駅は、現在改修工事がされているが、トークバックが廃止される。無くなると不便なので残してもらいたい。

委員からの発言に対し、西日本本部、全国貨物協議会から答弁され、工藤議長による委員会集約が行われました。評価制度について、30人に1人の評価者について、制度導入後4年が経過した現在も整えられていない職場がある中で、「公平・公正」な評価が困難であり、評価者によってバラツキも生じている。また、昇職試験についても、普通に業務をしていればR2に到達できるとした交渉経過があるが、調査により合格率が低くなっている実態もある。引き続き、引き続き、これら労働者の分断と競争を許さない闘いに全力を挙げていく。学習会については会社の狙いを捉えていくためにも重要であり、今年度も定期的に開催していくこととして集約をしました。

関西貨物協議会は、今委員会により、安全・安心な職場の確立をはじめ、「大幅賃上げ獲得」「安全輸送の確立」「労働条件改善」「組織強化・拡大」「鉄道貨物政策の実現」「平和と民主主義の発展」等、闘う活動方針を確立しました。働きやすい職場環境作りに向け、1年間活動をしていきます。



最後は工藤議長の団結ガンバローで終了しました。

新役員

議長	工藤隆志	近畿 (吹田機関区)
副議長	熊野孝人	北陸 (富山機関区)
副議長	大森忠	近畿 (大阪貨物ターミナル駅)
副議長	佐藤英和	岡山 (西日本ロジステイクス)
副議長	長尾保宏	広島 (広島車両所)
副議長	國松重浩	近畿 (関西保全技術センター)
副議長	荻田啓二	近畿 (京都貨物駅)
事務長	恵阪景一	近畿 (吹田機関区)
会計監査	坂口保	近畿 (関西保全技術センター)
会計監査	小西八十四	近畿 (吹田機関区)

1年間よろしくお願ひします (役員一同)

今委員会で奥尾副議長、笹山副議長、久米会計監査委員が退任され、それぞれ一言ご挨拶をされました

奥尾副議長 (広島)

関西貨物協議会が立ち上がって3年目に副議長に就任し、途中抜けたことはありませんが、28年間務めさせてもらいました。この場からは一旦退きますが、広島から後継者を送り出せる様に引き続き奮闘していきます。

笹山副議長 (北陸)

昨年の定期委員会から副議長となりましたが、早い1年間でした。ありがとうございます。久米会計監査委員 (近畿)

今回で退任することとなりました。お役に立てたかわかりませんが、皆様ありがとうございます。



左から久米会計監査委員、笹山副議長、奥尾副議長

これまで関西貨物協議会を支えて頂きありがとうございました